

## 聖ヨゼフ学園 出前授業 報告書

日時：2018年2月15日(木) 14:00-16:00

場所：聖ヨゼフ学園中学校（横浜市鶴見区）

参加者：中学3年生7名（すべて女子）

出席委員：石井（東芝）

概要：

生徒からのインタビュー30分、講師からの話10分、計40分を生徒が交代して2セット実施。技術者・研究者の仕事の内容、やりがいなどについて話をした。

詳細：

聖ヨゼフ学園は小中高一貫教育で中高は女子校、1学年の生徒は50～60名とのこと。中学3年生全員(約50名)が参加する職業理解の授業。全部で11名の講師(医師、薬剤師、獣医師、スタイリスト、保育士、裁判官、旅行代理店など)があり、生徒が数名のグループに分かれてインタビュー形式で話をする進め方だった。7名の生徒と話をしたが、概ね全員が理系進学を考えているようだった(文理選択は高1終了時とのこと)。

なぜ理系に進もうと考えたのか、技術者・研究者の仕事で大変なことは何か、どのようなときにやりがいを感じるか、といった質問があり、自分で考えて作ったものが動いたときのよろこびなど、モノづくりの面白さを伝えることを意識して回答した。職場に女性はどのくらいいるのか、女性が少なくて困ることはないかといった質問もあったが、女性の割合は多くはないが、産休・育休等の制度も整っており、子育てをしながら仕事でも活躍している先輩がたくさんいることなどを伝えた。そのほかに、普段どのように仕事をしているのか、出張はあるのかといった技術者の日常に関する内容や、大学の理工学部ではどのようなことを学ぶのか、中高生時代にやっておくべきことは何かといった学生生活に関する内容など、活発に質問が出て、興味をもってもらえたと思う。

